

田中美貴子 MIKKO NEWS 議会報告



府議会で初質問



1 子どもの貧困対策について



平成26年1月に「子どもの貧困対策に関する法律」が施行され、京都府も本年4

月から平成32年までを計画期間とする「京都府子どもの貧困対策推進計画」が策定されたが、子どもの貧困の背景にある要因を考慮し、施策の連携・積み重ねが重要と考えるが、今年度喫緊に取り組む特徴的な内容は？



住民税の非課税世帯が、15年前と比較して約2倍になっている。計画の初年度となる本年度には、教育と福祉のネットワークづくりの

取り組みを進め、小学5年生への個別補充学習や、中学生を対象とした無料の学習塾の開催などの取り組みを強化するとともに、子どもの貧困の実情を適切に把握するための調査の実施に向けて検討中。



2 少子化対策について



①京都府の合計特殊出生率が全国ワースト2位と発表されたが、安心して子育て

が出来る環境整備が必要であり、母親のみならず子どもにとっても重要な履歴となる母子手帳の充実が重要である。ICTを活用した「ちゃいるす」の今後の展開はいかがか？



①こども健康管理システムを整備したところであり、アクセスは11万回以上となっているが、登録は3千件と工夫が必要と考える。一目

でわかるような情報提供の在り方を市町村と連携していきたい。

②多子世帯を目指すためには、妊娠期から子育てまでの包括的な切れ目のない支援が必要と考えるが、いかがか？

②「産前・産後ケア専門員」や「訪問支援員」の養成が重要であり、今年度は、専門員40名訪問員90名を養成するとともに、子育て支援のワンストップ拠点を市町村に広げ、地域のネットワーク化を進めていく。